

様式 A-1

平成 25 年 2 月 18 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 都立科学技術高等学校 研究部 宮本真吾
2. 講師氏名: Dr. Mirabbos Hojamberdiev
3. 同行者氏名: 牧之瀬 佑旗 様(東京工業大学院生)
4. 実施日時: 平成 25 年 2 月 16 日 (土) 10:30~12:00
5. 参加生徒: 1 年生 15 人、 2 年生 11 人、 3 年生 2 人 (合計 28 人)  
備考: (例:理数科の生徒)
6. 講演題目: (英文) What Magic Can Nanophotocatalyst Do?  
(和文) ナノ光触媒のマジック
7. 講演概要:  
講義前半は、先生の母国であるウズベキスタンについて。異国情緒を感じさせるスライドの中にも、日本との共通点への指摘もあり、興味深かった。後半 40 分で、ご専門の光触媒に関する講義が行われ、4 件ほどの質疑応答で終了時刻を迎えた。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 75 分 質疑応答時間 15 分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講演
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
専門の内容について、同行の牧之瀬さんの手厚いサポートがあった。
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
光触媒に関する概略説明、キーワード、レジュメについての Q&A、先生への質問などをまとめたプリント 1 枚
10. 学校からの支給経費(該当がある場合):  交通費  宿泊費  謝金
11. その他特筆すべき事項: アボス先生の人柄がすばらしかったです。